

一人一人の成長が自分と会社を心地よくする

心地よいとは、まさに気持ちが良いということの意味です。会長の朝礼で唱和している「あいさつ」の中で「ありがとうと言うと気持ちがいい」というフレーズがあります。また、経営計画書にある佐賀大学の上原教授の掲げる「成長の原理」では、社員の創造性が発揮されるのは「お客様より感謝の言葉やありがとうと言って頂いたとき」と書かれています。まさにありがとうの言葉や感謝されると人は気持ちがいいという心地よさになります。もう一つ心地よさを実感することがあります。それは「自分の成長を実感したとき」です。今日という日は二度と来ない。日々刻々と変化していく。そして今の時代は変化のスピードが激しい。そういった環境だからこそ一人一人の創造性が大事です。その創造性を発揮される場所はどこか。それはお客様のところと会社の中です。私はこれを現場と定義します。戦略はトップダウン、戦術はボトムアップ両方をバランスよく経営する。戦略は社長が考えるものです。そこで一番大事な読み・流れというものを踏まえて方向性や順番（優先順位）を考えます。そしてそれを考動実践するのが社員の皆さんです。①社長が現場を重視し、現場で働く社員一人一人が自分の頭で考え行動する組織を作り実践してもらう。この視点を当たり前のように意識し行動すれば社長の戦略が合っていたか間違っていたかがわかります。またそれを社長に理解させた人は創造性を発揮した仕事をした人と言っても良いでしょう。そしてもう一つ大事なことは、②営業とサポート（内勤）が一致協力し、「ありがとう」と伝え合い会社の雰囲気心地よくすること。①②を実践しその結果、利益として還元できれば、前回よりも創造性が発揮されたという証しになります。いい会社とは、会社の中の皆がそれぞれの立場で頭を使っている会社で、よくない会社は上の二人、三人が頭を使って、下は頭を使っていない会社。いい会社を目指せば社員は成長し心地よい仕事ができます。その骨格は方針・行動理念・成長シートの実践です。今期もそこをぶれずに取り組みます。そして皆がそれぞれの立場で、日々1%で良い。自らの成長を意識してください。